

 医学統計学研究センター
平成 26 年度 第 5 回 セミナー

**ロジスティック回帰分析（応用編）
－ SAS を利用した分析の実際 －**

Logistic Regression Analysis with Practical Application using SAS

講 師： 丹後俊郎（医学統計学研究センター）
山岡和枝（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

日 時： 平成 26 年 11 月 21 日（金） PM1：15 ～ PM5：00

場 所： 汐留イタリア街東京茶業会館 8 F 東茶協ホール

テキスト： 丹後俊郎・山岡和枝・高木晴良著「新版 ロジスティック回帰分析」朝倉書店、2013。
※当日、テキスト購入を希望される方は事前登録が必要となります。¥5,000（税込）

対象： 臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、
臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者

参加費： 参加申し込み区分（税込）：

A：大学院生	6 千円（大学院生を本務とされている方）
B：アカデミック	1 万 2 千円（大学・病院・研究機関所属の方）
C：ノン・アカデミック	2 万 4 千円

定 員： 50 名（定員に達しだい受付締切）

セミナーの内容：

ロジスティック回帰分析は SAS、SPSS、STATA、R などの統計ソフトの普及もあり、医学を始めさまざまな分野で利用されるようになってきました。しかし一方で、簡単に使えるということでブラックボックス的に解を求め誤った解釈につながるような使われ方がなされることもあるようです。特に最近では、相関構造をもつデータ、欠測データを持つ不完全データなどにも対応できる方法論の開発が進展して、方法論へのより深い理解が求められるようになりました。

本セミナーでは、ロジスティック回帰分析の応用編として、昨年度の第 4 回セミナー「ロジスティック回帰分析の基礎」を修了した受講者のレベルとほぼ同様の基礎知識を有した比較的中級者を対象として、主に以下の内容について解説し、基礎と応用への理解が深まるよう図るとともに、解析結果から目的とする指標を求め、報告できるようになることを目指します。

- * ケースコントロール研究のデザイン
- * 条件付きロジスティック回帰モデル
- * 階層構造、クラスター構造をもつデータの解析
- * 経時的繰り返し測定データの解析
- * 欠測データを含む不完全データの解析

会場で実習も試みたい受講者は、SAS がインストールされている PC（電源はありませんので、バッテリーを十分に）を持参してください。

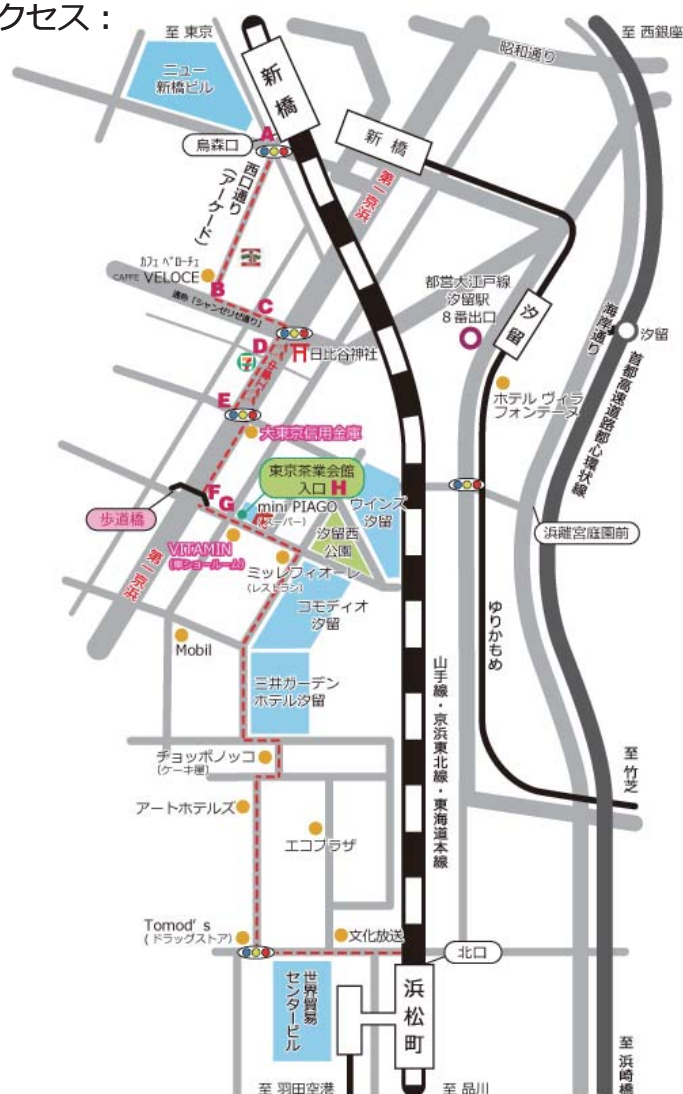


エレガントな汐留イタリア街で行われる
最先端のセミナーに参加しませんか？



Coffee Break では素敵な音楽と Coffee & Sweets が楽しめます

アクセス:



東京茶業会館 8 F
東茶協ホール
港区東新橋 2-8-5
(汐留イタリア街)

JR「浜松町」駅「新橋」駅
地下鉄大江戸線・ゆりかもめ
「汐留」駅、地下鉄三田線
「御成門」駅より 徒歩7分
地下鉄浅草線・大江戸線
「大門」駅より 徒歩8分

セミナ一参加申込方法：

参加希望の方は、配布資料の準備もご致しますので、**11/13** までに、できる限り、事前登録をお願い致します。

参加申し込みは  e-mail にて承ります。参加費は当日お支払い下さい。
※領収書と参加証明書お渡し致します

宛先: secretary@medstat.jp

件名：第5回セミナ一参加申込

本文：1. ご氏名 2. ご所属 3. 参加申し込み区分
4. テキスト購入希望の有無

※セミナーのお申し込みをいただいてからお申込者様のご都合でキャンセルされる場合、キャンセル料を申し受けますので、ご注意、ご了承下さい。セミナー開催の

8 日前（開催当日を含まず）まで： 不要
7 日前 - 前々日のキャンセル： 参加費の半分
前日 - 当日のキャンセル： 全額